

筑紫路

発行

自衛隊福岡病院

春日市小倉東1丁目61番地



新病院イメージ（令和10年度完成予定）



自衛隊福岡病院院長兼
春日駐屯地司令
陸将補 森 知久

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
旧年中は多くのご協力とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
昨年の国際情勢は、ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルを中心とした中東紛争が長期化し、世界の分断・不安定化が継続しました。我が国周辺においても、北朝鮮の弾道ミサイル発射、中国の軍事力の増強と台湾に対する政治的・軍事的圧力の強化、ロシアと北朝鮮、ロシアと中国のカップリング強化に加えて、アメリカ大統領選挙の影響等日本を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑な状況が継続しています。また、医療現場においては、医師の働き方改革、健康保険証がマイナ保険証化するなど医療の仕組みが大きく変わった一年でもありました。

このような病院を取り巻く環境の中、自衛隊福岡病院は、隊員や地域の住民の皆様に対する良質な医療の提供、健康管理支援、医療従事者の育成を実施しつつ、衛生機能の変革（有事において危険を顧みずに任務を遂行する隊員の生命・身体を救う組織へのシモン（MRI）の換装、医療情報システムの換装（電子カルテの導入）推進、病院の建替え推進等）、時代に適合した職場環境の構築（人材育成・教育現場の改善、ハラスメントの根絶、働き方改革等）に取り組んでまいりました。特に、衛生機能の変革の推進では、有事の際に活躍が期待される Damage Control Surgery チーム等の要員指定と積極的な訓練参加、防衛省の有識者会議でも取り上げられた輸血戦略への対応準備、医師や看護師等の医療資格を保有する予備自衛官の戦力化等の取り組みにより、西部方面隊の衛生機能の強化促進に寄与して参りました。

本年創立七十周年の節目の年を迎える自衛隊福岡病院は、これまで病院を支えてきてくださった関係者の皆様、地域の皆様への感謝を忘れず、日々診療や訓練に邁進し、「自衛隊における九州の基幹病院として自衛隊員はもちろん国民の皆様信頼される病院」をより一層目指してまいります。特に三月に導入予定である電子カルテシステムを円滑に移働させ医療の質を大幅に向上させるとともに、昨年着手した病院建替え工事については地域の皆様のご理解とご協力を得ながら着実に事業を進め、令和十年度末の新病院開院に繋げていく所存です。末筆ながら自衛隊福岡病院が西部方面隊の基幹病院として、そして地域医療を支える保険医療機関として、その役割を果たすために引き続き職責を全うすることをお誓い申し上げますとともに、皆様にとつて心穏やかな一年になるよう心からお祈り申し上げます。



春陽会会長
牟田 直

新年明けましておめでとうございます。皆様は、新しい年をどのように迎えられたのでしょうか。昨年は、ロシアのウクライナ侵略はいまだ続いており、ハマスとイスラエルの武力衝突は、どの沼状態で現在に至っています。国内では、与党が過半数を割り、政局は不安定な状態になりました。年明け早々、アメリカでは、トランプ政権が誕生します。この様な先の見えない情勢の中ではありませんが、自衛隊福岡病院にとつては良い話もありました。それは、建て替え工事が本格的に始まったことだと思います。現職時代、建て替え業務に最初から携わった者としては感慨深いものがあります。病院長とお話した際に、令和十一年三月開院予定とお聞きしました。完成が、待ち遠しい気がいたします。

さて今年はどうの様な年になるのでしょうか。国内政治の安定と世界においても争いのない穏やかな年であることを、そして皆さんの一年が息災であられることを祈念し、新年のご挨拶といたします。

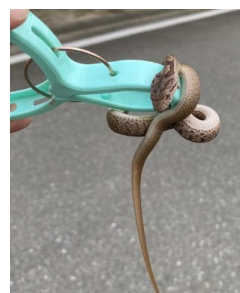
あけましておめでとうございます。今年の干支は蛇ですね。自衛隊福岡病院には春日山と呼ばれる区域があります。この場所はボツンと一山、自然が残されています。秋には果が落ち、タヌキや蛇など小動物が住み、隊員が遭遇することもあります。（右写真）

医療で蛇と言えばギリシャ神話の名医アスクレピオスの持つ「アスクレピオスの杖」ですが、

自衛隊の衛生き章は同じギリシャ神話のヘルメス神が持つ「カドウケウスの杖」です。

少し異なるこの二本の杖、気になる方は検索されてはいいかでしょうか。

【第二回福病アピールポイント】
昨年お知らせしました装置が更新されました。①X線撮影装置②MRI撮影装置です。①は被ばく量がグッと少なくなり従来の半分位の放射線で撮影できます。②は大学病院レベルの装置で早い・綺麗とおすすめ装置です。今年も自衛隊福岡病院をご利用下さい。



最先任上級曹長
准陸尉 濱 良道

開院69周年記念行事



自衛隊福岡病院は令和六年十一月十日（日）に開院六十九周年記念行事を行いました。
祝賀会食はロイヤルチエスターにて執り行われ、日頃から自衛隊福岡病院にご理解とご尽力を頂いている方々へ感謝状が贈呈され、終始和やかな雰囲気で開催六十九周年を盛大に祝うことが出来ました。



祝 退官

長年の自衛隊勤務 お疲れ様でした！



12月3日付
医事課 3等陸佐 篠崎 弘子

11月11日付
給食課 准陸尉 榊 透友

《十二月二十日付》
看護部
三等陸佐 西川 尚子（三宿から）
二等陸尉 飯塚穂たか（南那覇から）

《転入者》

《十二月二十日付》
看護部
一等陸尉 坂元 祥子（福岡へ）

《転入者》

山地行進訓練

准看護学院（学院長・松尾二佐）は令和六年十月十一日、第四十九期学生の第二回山地行進訓練（宝満山）を実施しました。山地訓練は最先任上級曹長の同行のもと、行進間における応急処置及び患者後送を実施しました。病院長（森陸将補）より激励をいただき、病院関係者に出迎えられ、参加者全員が完遂し、衛生救護隊曹に必要な資質及び識能を向上させることができました。



准看護戴帽式

准看護学院は令和六年十一月七日、特別養護老人ホーム悠生園園長、次長及び西部方面総監部医務官 河野一佐のご臨席を賜り、病院長の立会いの下、戴帽式を挙行しました。
第四十九期学生三十一名は、教務班長から戴帽を受け、誓いの詞を宣誓しました。同日より病院等での臨地実習が開始され、准看護師へと続く新たな一歩を踏み出しました。



祝 第49期初級陸曹特技課程「准看護師」戴帽式

陸上自衛隊演習

令和六年度陸上自衛隊演習において、技能（公募）予備自衛官の受入れ、戦力化のための訓練を担任・実施しました。当院の概要説明をはじめ、院内オリエンテーション、複数名同時患者受入れについての机上検討及びその実動訓練を通して、相互理解を図るとともに、顔の見える関係を構築しました。



【技能（公募）予備自衛官受入訓練（第1日目）机上検討】

建替工事に関するお知らせ #5

令和六年四月より準備工事を開始し、新病院建替に向けて進めておりますが、昨今の建設業界の実情により約一年程度延期することとなり、令和十年度末の開院を目指し、準備を進めていきます。

【新病院までの工程（予定）】

西暦	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
和暦	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	
工程	準備工事	本体工事			約1年 延長	開 院	旧病院
	水路への ボックス カルバート の設置等	自衛隊福岡病院 建替工事					改修工事 解体工事 土木工事

